

民報あばしり

NO.875

2012.7.15

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三三-四四五八
F四三三-四四五七



菅原まこととキャラバン網走入り

日本共産党衆議院小選挙区12区の菅原まこととキャラバンが7月5・6日、網走に入りました。



5日、10時から地域の党支部に入り、情勢と総選挙の訴えをし、その後、飯田・松浦両議員と中央公園団地、大曲2丁目公営住宅団地で街頭演説を行い、消費税増税問題と日本共産党の「消費税に頼らない別の道があります」という提言について、命にかかわる原発の問題や地域を壊すTPP問題まで、わかりやすく訴えました。

午後からは、どしゃ降りの雨のなか、4条商店街を訪問し、「消費税に頼らない別の道があります」という、日本共産党の「提言」を渡し懇談しました。どの店でも「経営が大変だ」「今でも消費税をやっと納めている。これ以上になつたら店はやっていけない」との声が寄せられました。

「民主党に少しは期待したが自民党より悪かった」「こうなつたら共産党に頑張ってもらうしかない。次の選挙では頑張ってくれ」など、どこでも期待の声が聞かれました。

商店街訪問後は、雷と大雨の中でしたが、ベーシック橋北店前と道営住宅サンリッチヴィラ前で街頭演説をしました。夕方は、松浦議員と民商会員を訪問しましたが、どこでも「消費税の増税は困る。共産党に頑張ってもらうしかない頼むよ」という声が寄せられました。

6日は、午前10時から網走漁協と懇談し、TPP問題をはじめ、原発事故での風評被害の問題、消費税の問題で有意義な懇談となりました。午後からは地域の党支部との行動、その後、ベーシック駒場店前、つくし3丁目公営住宅団地前、潮見団地で、それぞれ街頭から訴えを行いました。

2日間で多くの市民と触れ合い、たくさんの方が寄せられ、日本共産党への期待が大きく広がっていることを実感しました。菅原候補は、来るべき総選挙では、寄せられた期待に応えるため奮闘しなければと決意を新たにしていきました。

松浦奮戦も歴代の政権は領土問題

今回、政府が尖閣諸島を国有化することについて、共産党の市田書記局長は「平穏かつ安定的に維持管理する上で当然のことだ」との考えを示しました。その中で、東京都の尖閣諸島購入計画について「自治体が国家間の領土問題に介入することは適切でない」と指摘。また、「国有化によって問題が解決するわけではない。道理をもつて領有の正当性を説く積極的な外交努力が求められる」といっています。

歴代の政権は「中国に対しても国際社会に対しても、尖閣諸島がわが国固有の領土であることを、歴史上、国際法上の正当性について理をもつて説明することを避けてきた」のです。

「領土問題は存在しない」というだけでは解決しません。道理をもつた話し合いで平和的に解決する努力が必要だと思えます。

東奔西走

7日（七夕の日）に全国の中長距離のトップランナーが競い合うホクレンディスタンス網走大会が開催され、各選手にあと何回かを知らせる周囲の審判として今年初めて参加しました。

約300人が各距離別にスピードと華麗な走法を網走市民に披露しましたが、今年箱根駅伝の「山の神」柏原選手やいつも全力頑張り疾走の「公務員ランナー」の川内選手、ママさんランナーの赤羽選手、網走合宿常連のマラソンの渋井選手など珍しく有力選手が揃いました。

レースコンディションは、風は弱く14.5度と肌寒い気温でしたが、網走市民の暖かい声援で自己記録を更新した選手が多くいました。そのなかで注目したのは川内選手で、自己記録更新は成らなかったものの、試合終了後、気さくにサインや質問に応じていました。

今回は、職場が定時制高校で午後9時まで勤務のため、試合当日の朝いち航空便が取れず、網走入りが予定より遅れてしまった事のように。

しかし、コンディションのうんぬんを言いわけにすることなく、「今日の走りは頑張り不足」と淡々とサインに応じている姿に市民ランナーとしての真骨頂を感じました。

原発のドキュメント映画「六ヶ所村原子力研究所」の制作と地球の回転などを撮影し続け「日本社会の本質的な問題が原発」という形が出版。一番の原因は無関心。講演に行くと「なぜ原発はやめられないのか」と質問される。答えは無関心だからと語る。金兼伸と監督が新作をひたすらと来網！主催はゆいぽよと。あついで走り回る若い親たちのグループ。二ニュースで放映された。二一年日本全国が「原発反対」「再稼働反対」のデモや集会。毎週金曜日の官邸包囲デモは週を追うごとと群集があらわれ20万人。

上映会・ドキュメンタリー映画
「内部被ばくを生き抜く」
7/15 開場 12:30 上映13:00

今、原発の問題に向きあっている。いつか、それを持てたとしても、生きる限りの不手伝い。あわせて、差別の唯一。岩内にある泊原原発の会にも関わっている。(た) 7/15. 必見. 来下す!! 監督の対談つき!

流氷
原発事故のあと、被曝について様々な情報が飛びかい不安な日々を過ごしていませんか？
現状を知り、未来の生命を守るために、沢山の人の
今みて欲しい映像です
そして一緒に考えたいです
この日本で生きていくために。
そのヒントがみつかります!